

平成 16 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに当院当科高次脳機能障害専門外来に受診された患者さんへ

以下はお電話で調査員(当院 八木真美;言語聴覚士 または 用稲丈人;作業療法士)から説明があった研究に関する内容を文書化したものです。ご参照ください。

○課題名：高次脳機能障害外来受診者の長期経過に関する検討

○研究の概要：

高次脳機能障害者を有する皆様の社会復帰にはまだまだ多くの課題があるのが現状です。少しずつではありますが高次脳機能障害という障害の概念が社会にも認知されつつありますが、まだまだ十分に理解が得られている状況にはありません。患者ならびにそのご家族の皆様の中にも日常生活の中で理解を得られず、つらい経験しておられる方も多いのではないかと思います。そこで当科ではそのような皆様の今後の社会復帰に向けてより効果的な支援を行うことが出来るようにするため、現在皆様がどのような生活をしておられ、またどのようなことにお困りなのか等の情報をお寄せいただき、その情報を過去の皆様のカルテの情報とあわせることで、どのような方にどのような支援をおこなえば良いのかを検討することとなりました。ご協力いただける皆様には電話でのアンケート(通院状況・就労状況・精神障害者(身体障害者)保健福祉手帳の有無・年金の有無・福祉サービス利用状況・相談窓口の有無・本人の満足度・家族の負担等)にお答えいただきます。時間は概ね 10～15 分の予定です。アンケートにお答えいただけた方の中でご協力いただける方につきましては、過去のカルテも参照させていただくことで、より詳細に皆様の状態を把握いたします。アンケートに対しての謝礼はございませんが、将来的に高次脳機能障害にお困りの皆様の社会復帰支援に役立てさせていただきます。また協力いただかなくても全く不利益はございません。

○対象となる患者さん

平成 16 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに当院当科高次脳機能障害外来に受診し何らかの検査・支援を受けたすべての患者さん

○実施場所：川崎医科大学リハビリテーション医学教室

○個人情報の保護について：

調査したデータは本研究の目的以外に使用することはありません。また、調査の結果を学会や論文で発表する際には、個々の患者さんの氏名・生年月日等の個人情報が他の人に知られることは一切ありません。個人情報データは医局内のネットワークに接続しておらず尚且つパスワードの設定されたパソコンに保管し、データ解析は個人情報を削除して行います。データの取り扱いに対していつでも拒否は可能です。一度は参加の意思を示して

も途中で拒否も可能です。万一データ使用を拒否される方は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡下さい。(追伸：論文等発表後のデータ廃棄は不可能です。)

○当研究は、利益相反関係(研究費を出す企業などの利益になるようデータを改ざんする行為に至る可能性のある関係、すなわち研究において誤解を受けるような不透明な関係)がないことについても確認済みです。追記)リハビリテーション医学教室では、グラクソ・スミスクライン株式会社より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し誤解を受けるような不透明な関係がないことも確認されています。なお、グラクソ・スミスクライン株式会社は、本研究課題には関係のない企業です。

○ 研究期間：倫理審査承認後～2年間

○ お問い合わせ先：rehabili@med.kawasaki-m.ac.jp

○ 主任研究者：川崎医科大学リハビリテーション医学教室 准教授 平岡 崇

Tel: 086-462-1111(内線 25506)